

病気や障がいのあるお子さんを育てるお母さんの

# 子育て観カードワーク & オンラインワークショップ

どんなふうに子育てしながら  
暮らしたいかをみつめてみませんか？



オンライン  
ワークショップ開催日時

2021 **11/13** 土

14:00~16:00

ZOOMにて開催

対象

病気・障がいのある  
お子さん(1~15歳)を育てるお母さん

- ※お子さんの病気や障がいの種類は問いません。
- ※パソコンやスマートフォンでZOOMを利用できる環境があることが望まれます。
- ※定員を超えた場合は、人数や日程、方法の調整を行う場合があります。

事前にお家でカードワークを行って頂きます。  
9/30(木)までにお申込みください。

参加費

**無料**

ご参加いただいた方には、  
謝礼(1,000円分の金券)を  
お送りさせていただきます。

定員

約**50**名

参加申し込みはこちらのQRコードから!



病気や障がいのあるお子さんのお母さんは、日々慌ただしい生活のなか、子育てに奮闘されているのではないかと思います。少し立ちどまり、お子さんにどんな子に育ち、過ごしてほしいのか、そして自分がどんなふうに子育てしながら暮らしていきたいかをぜひ一緒に考えてみませんか？

このような取り組みを行い、当事者の願いや声を研究として発信します。

ご興味のある方、ぜひご参加ください。

詳しくは裏面をご覧ください

病気や障がいのあるお子さんを育てるお母さんの

# 子育て観<sup>かん</sup>カードワーク & オンラインワークショップとは

病気や障がいのあるお子さんのお母さんの子育てと暮らしに関するカードワークです。

子育てや暮らしに関する価値観が書かれている複数枚のカードを、自分が大切と思う順にならべるゲームのような方法で、お母さんがどのように子育てしたいか、どのように暮らしたいのかを測ります。

お家でカードをならべることに取り組んでいただき、後日オンラインでのワークショップにご参加いただきます。**カードワークのみの参加も可能です。**

Step  
1

## QRコードから参加のお申し込みをお願いします

参加を希望された方には、追って詳細について書面をお送りして再度ご説明します。

お申し込み期間 2021年9月30日(木)まで



Step  
2

## お家でカードワークに取り組んでみよう

所要時間 30分~1時間

お申込み後、1週間以内にカードがお手元に届きます。カードが到着後7~10日間のうち、可能な時間で取り組んでいただき、結果をメールしてください。

1.  
カードの  
セットが届く



2.  
カードを  
ならべるワークに  
取り組む



3.  
カードをならべた  
結果を写真に  
とってメールする



Step  
3

## オンラインワークショップに参加しよう \*Step2のみの参加も可能です。

開催日 2021年11月13日(土)

時間 14:00~16:00

開催方法 ZOOM開催

1.  
オンライン  
上に集まる



2.  
カードワークの  
結果を  
共有する



3.  
少人数のお母さんと  
カードワークをして  
感じたことや  
考えたことについて  
話をする

大切なお約束

- 知り得た個人情報、他の目的で使用することはありません。
- 研究成果を専門職の方々と共有し、当事者の願いや声を大切にしたいサポートができるよう論文や報告書として発信します。その際、個人がわからないようにして発信しますので、プライバシーは必ず守られます。
- 本研究の参加により不利益が生じることはありませんが、計2~3時間の時間を必要とします。
- 参加は自由意思のため、協力しなくても不利益な対応は受けません。いったん参加に同意した場合も、報告書や論文の作成に着手する前までは撤回できます。
- 本研究は、茨城キリスト教大学倫理審査委員会の承認を受けています。

今後、病気や障がいのあるお子さんのお父さんを対象とした同様の取り組みを行う予定です。ぜひ今回の取り組みを体験していただき、ご案内いただければ嬉しいです。

本プログラムは、文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C「医療ニーズのある子どもの親の子育て観に基づくケア・サービスモデルの開発(18K10478)」(研究代表者・松澤明美)の助成を受けて実施するものです。

本チラシの内容についてご不明な点やご心配なことは、遠慮なくお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

松澤 明美  
茨城キリスト教大学  
看護学部看護学科

TEL 0294-52-3215 (代)

【受付】月曜日~金曜日 9時~17時

Mail ped-nursing@icc.ac.jp

科研費  
KAKENHI